

農産物加工処理施設第1工場、大幅改修

作業効率の向上と 衛生管理の強化を目的に

当JAは、農産物加工処理施設第1工場の選別ラインと包装ラインを全面改修しました。

今回の改修では、最先端の光学式選別機を導入し、機械選別の高度化を図ることで選別人員を減らすことが可能となり、自動箱詰めロボットの導入により、今まで人による商品の箱詰め作業を機械で行なうことで作業効率の向上が図られます。また、人による製品への接触機会を減らすことで、衛生管理の強化を目指しました。その他にも、選別ラインなどもすべて新しくなりました。

工事期間は、8月上旬から9月中旬。

なお、今回の改修は、「令和元年度産地パワーアップ事業」を活用して行っております。

工場もロボット化となり工場内も大きく変わりました。是非一度見学にお越し願います。

光学式選別機



大型化した最先端の、
光学式選別機(上)
従来の光学式選別機(右)



選別ライン



作業している人の数が違います。
新しくなった選別ライン(上)と
従来の選別ライン(下)

自動箱詰めロボット



新たに導入した箱詰め
ロボット3台(上)とロボット
での箱詰め作業(左)



従来は人の手により箱詰め
作業を行っていました。